

2022年11月18日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
相模原南児童ホーム
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの
新型コロナウイルス感染者(児童・職員)の発生について
(24の⑥)

既報(「24」～「24の⑤」)のとおり、14日(月)までに相模原南児童ホームの幼児の生活区域の児童3名、職員2名の新型コロナウイルス感染が確認され、確認された感染児童はそのつど隔離、感染職員はそのつど出勤停止とした後に、それぞれ、同じ生活区域の児童・職員に計3回のPCR検査を行ないました。

そして、同じ生活区域の児童5名、職員4名、計9名から14日(月)に検体(唾液)を採取して行った3回目のPCR検査の結果、9名全員の陰性が確認されました。

しかし、昨17日(木)夕、3回目の14日(月)に採取した検体では陰性が確認されていた児童1名が発熱、抗原定性検査の結果、感染が判明しました。14日(月)に採取した検体のPCR検査では捕捉されなかったものの、ウイルスが潜伏していたものと推定されます。

これを受けて相模原南児童ホームでは17日(木)夜・18日(金)朝、同じ生活区域の児童4名、職員4名、計8名に対して、まず、抗原定性検査を行ない8名全員の陰性を確認しましたが、さらにこの8名に4回目のPCR検査を行なうため検体を採取し、検査機関に送付しました。検査機関から検査結果が到着しましたら、あらためてご報告します。

皆様には度々ご心配をおかけして申し訳なく存じますが、今後も感染防止に最善を尽くしますので、ご理解、ご協力をお願いします。